

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立成章中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和7年4月17日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

(2) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は、小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語、算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は、各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■調査結果及び考察

1 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらか言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合。

佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目	本校 %	全国平均 %
学校に行くのは楽しいと思う。	86.5%	86.1%
将来の夢や目標を持っている。	71.6%	67.5%
自分には、よいところがあると思う	88.4%	86.2%
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	82.6%	84.7%

「将来の夢や目標を持っている。」の項目は、肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。学級活動やキャリア教育等の学習活動を通して、学校生活や将来に対して前向きな姿勢を育まれていることがうかがえます。

家庭学習の様子に関する調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	5.8%	9.9%
「2時間以上、3時間より少ない」	15.5%	20.9%
「1時間以上、2時間より少ない」	22.6%	30.8%
「30分以上、1時間より少ない」	22.6%	19.1%
「30分より少ない」	23.2%	11.3%
「全くしない」	8.4%	7.7%

「普段(月曜日から金曜日)、1日の家庭学習の時間が30分未満」の割合が31.6%で、全校平均19.0%と比較しても、家庭学習時間が少ない生徒が多くいることがうかがえます。

(2) 改善に向けての取り組み

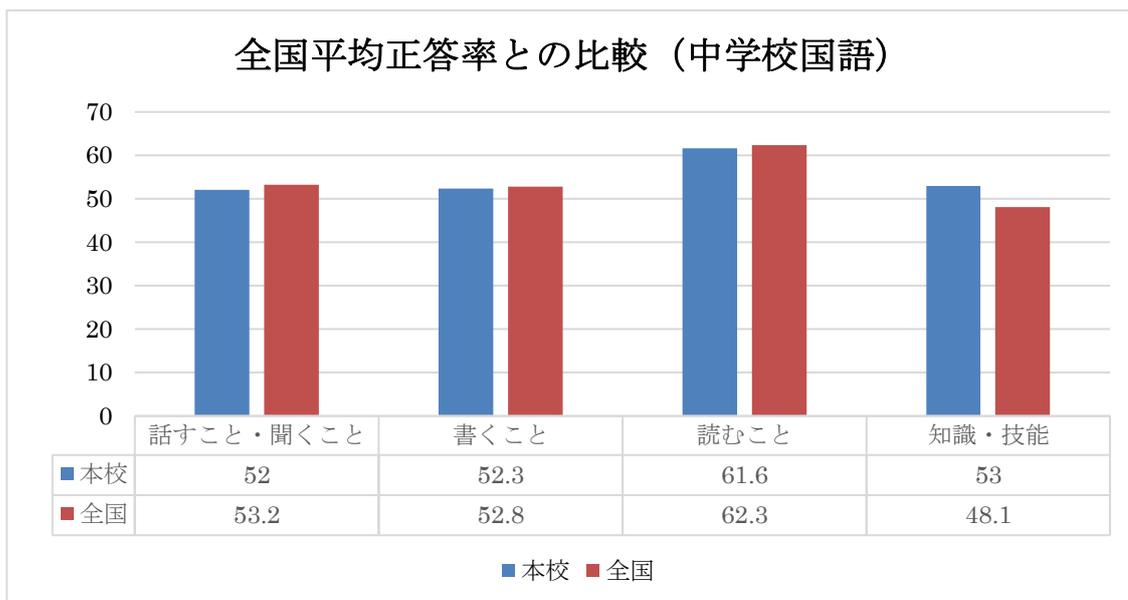
【学校では】

- 学習ログを活用し、さらに「協働的な学び」・「個別最適な学び」を取り入れた授業を実践し、全ての生徒が自ら考え主体的に取り組む学習を行います。
- 各教科で課題を出しています。今後も授業内容と結びついた課題を設定し、生徒が計画的に学習に取り組めるように工夫していきます。
- 学級活動やキャリア教育の時間に、学習の必要性を伝えていくとともに、テスト前には各教科でガイダンスを行い、家庭学習に前向きに取り組めるようにします。

【ご家庭では】

- 授業の最後に、生徒が一人一台端末で授業の学習状況や振り返り等を学習ログに入力しています。家庭では、学習ログの記入内容を見ていただき、学習に関するコミュニケーションを取ってください。
- お子さんとしっかり話し合い、各家庭で学習する時間を決め、学習に向かう環境を整えてください。
- お子さんの「がんばっていること」を見つけ、積極的に褒めてください。

2 国 語



(1) 結 果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「知識・技能」の観点は、全国平均正答率を 4.9 ポイント上回っています。また、無解答率は、全国平均と同等でした。

(2) 成果と課題

「知識・理解」の観点は、国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力であり、漢字や言葉の学習、音読などの成果が表れています。

課題は、「記述式」の問題形式の正答率を上げることです。本校正答率 23.5%は、全国平均正答率 25.3%を下回っており、苦手になっている生徒が多くいます。主体的な学びの視点で授業改善を図り、児童の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

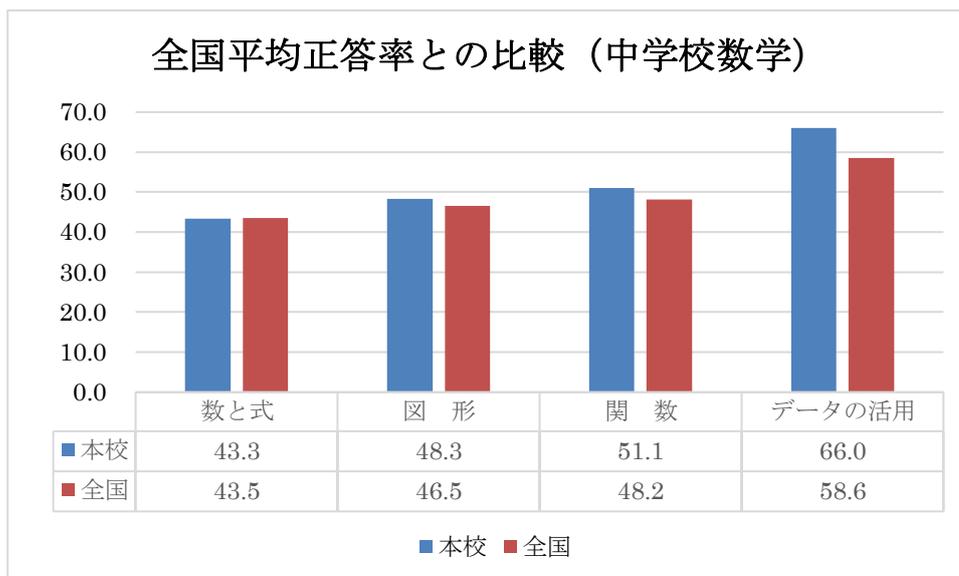
【学校では】

- 論説や報道文など様々な文章やグラフ等の資料に触れ、情報を的確に読み取り、自分が考えたことを話したり書いたりすることで、根拠を明確にして自分の考えを伝える力が身につくよう指導していきます。
- 学習ログを活用し、学習のねらいを意識しながら授業に取り組み、振り返りを充実させることで、学習内容の定着を図ります。また、他者の振り返りを参照することで、自己の学習の参考にし、学びを深める場面を設定していきます。

【ご家庭では】

- 文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけではなく、全ての教科の学力向上に不可欠です。コラムや論説等を読むとともに、ニュースや出来事などについて、定期的に話をしてみてください。
- 様々なジャンルの本を読み、いろいろな表現や用語に触れることは、語彙力を高め、知識の幅を広げ、思考を深めることにつながります。学校での朝読書の時間以外にも活字に触れる時間を設定してほしいと思います。

3 数学



(1) 結果

全国平均を上回っていました。「数と式」「図形」「関数」領域で全国平均を上回っており、「データの活用」領域では、全国平均を大きく上回っています。また、無解答率は、全国平均と同程度でした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「関数」領域の「式と x の増加量から y の増加量を求める問題」や「データの活用」領域の「相対度数を求める問題」では、本校正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。授業で、実生活に即した課題を取り入れた成果が表れていると考えられます。「数と式」領域の「連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する問題」では、正答率が全国平均を下回っていました。今後、具体的な例を挙げて、数の性質を説明できることができるようにすることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

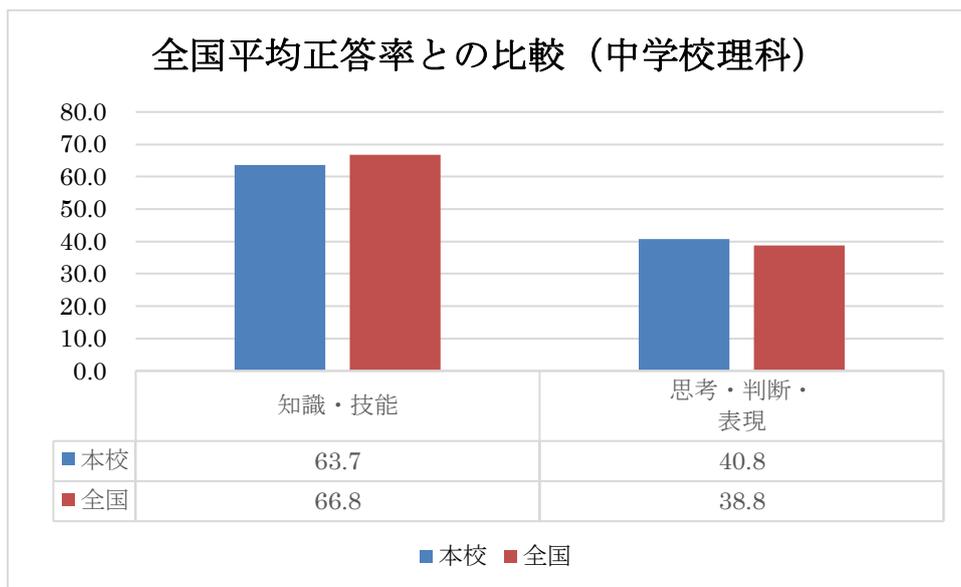
【学校では】

- 電子黒板や一人一台端末のICT機器を活用して、視覚的に課題を掲示し、生徒の興味関心を引き出す授業を実施します。さらに、生徒が学習ログに授業の振り返りや質問等を記入する時間を設定し、学習内容の定着を図ります。
- 毎時間の授業で、「協働的な学び」「個別最適な学び」の充実を図ります。また、式や言葉を使って、自分の考えを論理的に書く機会を増やし、思考力・判断力・表現力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- 一人一台端末での学習ログやテスト等をご覧になり、たくさんの励ましや賞賛の声をかけてください。
- 授業のプリントやワークの問題を繰り返し解くことで、学力を定着させることができます。家庭でも、多くの問題に取り組ませてほしいと思います。

4 理科



(1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「知識・技能」の観点では、全国平均正答率を下回っています。また、無解答率は、全国平均より低くなっていて、自分なりに努力した生徒が多いことが分かります。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「粒子」領域の「実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表す問題」の正答率が全国平均正答率を 5.7 ポイント上回っていました。また、「地球」領域の「地層 1 から地層 4 までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する問題」の正答率も全国平均正答率を上回っていました。「粒子」領域の「塩素の元素記号を記述する問題」では、正答率が全国平均正答率を大きく下回っていました。日々の授業で、元素記号や化学の基本概念をしっかりと理解させていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 学習課題を明確にし、結果に対する考察を論理的に記述する機会を増やすことで、さらに記述する力の向上に努めます。
- 学習ログを活用しながら学習課題に対してふりかえりを行うことで、インプットアウトプットに取り組み、理解力や思考力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- 理科は、習ったことが生活の中で生かされていることが分かった時や、実際に役に立った時の発見があった時におもしろさを見つけやすいです。星空を見上げて星座の話をしたり、生物が元気に育つ理由を考えたりすることでより理解が深まることがあります。
- 佐賀県立宇宙科学館や佐賀大学などのイベントチラシ等も配布しております。お時間があるときに一緒に行ってみると、より興味関心が向上することもあります。